

優しさと愛にあふれた救急医療

病院救急車の保有率

こんにちは。第 3 号はまたしても発行が大幅に遅れてしまい申し訳ありません。第 3 号は研究部門が編集を担当します。当部署の担当時は救急車の様々な研究データをお伝えしていこうと思っています。今回は病院救急車についての話題です。医療機関が患者転院搬送等の目的で保有する病院救急車ですが、一体どのくらいの数の病院が保有しているのかその保有率を調査しました。

今号の Contents

- ・ 今回の記事 考察 病院救急車の保有率
- ・ お詫びとお知らせ
- ・ 編集後記

今号の編集担当 救急医療研究部門

編集について

本誌の編集は愛救館の各部署が交代で担当します。

それぞれの担当分野を中心に救急医療の話題をお送りします。

今回の記事

考察 病院救急車の保有率

病院救急車を保有している病院は一体どのくらいあるのか。そんなちょっとした疑問が今回の研究の始まりだった。このテーマは愛救館の 12 月～の継続研究課題に決まり、現在も研究は続いており、全てが終わった時には改めてホームページ上で成果を詳しく発表予定だが、ここでは今までの成果を紹介する。我々は実地調査やインターネットを活用した調査により、全国の病院一軒一軒について病院救急車を保有しているか調査を進めている。まだ途中であるが、都市部は比較的保有が多く、一方地方では数が減ってくる傾向をつかんだ。また病院の種別で見ると、やはり救急病院は保有が多く、精神科病院の保有が少ないことが分かった。慢性期病院では患者急変時の搬送があるためか、まとまった数の保有があった。病床数による違いは顕著ではなかった。保有率という考え方では都市部や地方部による差も大きいと見られるが大阪府を例にとるとおおむね 67%前後ではなかろうか。半分を上回る数の病院が病院救急車を保有していることが分かった。

お詫びとお知らせ

いつも 99 をご購入いただきありがとうございます。さて最近 99 は発行の大幅な遅延が続いております。皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。これについて愛救館では対策を講じるべく検討を重ね、結果編集作業に想定より時間を要し、スケジュール上毎週の定期発行が難しいことから、今後は不定期発行(発行間隔が短いときも長いときもあります。)に切り替えさせていただきます。どうかご理解のほど宜しくお願いいたします。

編集後記

今回は救急医療研究部門が編集を担当しました。救急車に関する研究は全国的に診ても数は多くありませんが、今後も当部門では精力的に研究活動に励んでまいります。次回担当時も興味深い話題をご用意しますのでお楽しみに。